

もりや

広報

8

2018 No.650

守谷市が
全国第**1**位



シティブランド・ランキングー住みよい街 2017ー
全国の働く世代2万人に聞いた本音のランキング日経BP
総研ウェブサイト「新・公民連携最前線」シティブランド調査
※東京都武蔵野市、福岡県大野城市と同率1位

市民が**主役**!!

2018 Welcome to MORIYA!!

ようこそ

守谷へ



Welcome to MORIYA!! 2018



こんなにたくさんの方が
集まりました

参加人数

129世帯 338人

スタッフ

232人

6月30日に常総運動公園総合体育館で行われた「ようこそ守谷へ2018」。昨年度、守谷市に転入された皆さんを、先輩市民があの手の手でもてなすという、全国的にも珍しいイベントです。

今年で22回目を迎えたこのイベントは、実行委員会形式で行われていて、運営スタッフのほとんどは市民の皆さん。もちろん行政もサポートしますが、イベントの企画から準備、当日の進行や後片付けまで、その中心になっているのは、実行委員の皆さんです。

もてなす側・もてなされる側、どちらも守谷市の住民という、市民が主役のイベント「ようこそ守谷へ」。その様子を特集でお伝えします。

ようこそ守谷へ



参加者
アンケートから

アットホームなイベントで、大人も子どもも楽しめました。住みよい街第1位というのも、こういう活動があるからなんだな～と思いました。



太 鼓の音が勇ましく響く常総運動公園が、このイベントの会場です。「和太鼓「友」の皆さんが奏でる音を背に、手作りの花で飾られたゲートをくぐり、会場の体育館に入ると、お揃いのハットを被った先輩市民が、参加者を拍手で出迎えました。想像以上の歓迎ぶりに参加者は少し戸惑いながらも、とても嬉しそう。先輩市民に案内され、受付を済ませました。「賑やかな歓迎を受けた参加者は、お住まいの地区ごとに分かれ、テーブルにつきました。イベントは「ウインドアンサンブル守谷」の皆

さんによる高らかなファンファーレでスタートしました。その後、実行委員長の実好さんの挨拶では、「同じ時期に守谷に引越してきた人たちが、これだけ多くの人数で集まることは、おそらくもう一度とない。今日は、ぜひ楽しんでいってください」との言葉がとても印象的でした。
歓迎の音楽をウインドアンサンブル守谷が演奏した後は、先輩市民がそれぞれのテーブルにつき、「守谷でやってみたいことはありますか？」などと話しかけて、参加者同士のコミュニケーションを促しました。



も先輩市民によるワークショップが行われていました。実際に住んでいる人のリアルな情報は、きつと参加者には大いに役立ったはずですが、**市**民が主役の「ようこそ守谷へ」ですが、行政も少しばかりお手伝いさせていただきました。ブースの出展はもちろんのこと、市長をはじめとした幹部職員を使ったスタンプリーでは、市民の皆さんの生の声を聞かせていただくことができ、貴重な時間となりました。
最初はグー、じゃんけんぽい！つんと、イベントの終盤では、じゃんけん大会が行われました。まずは大人の部。ステージの市長に勝った人が残っていく形式で行われ、回が進むごとに盛り上がりていきました。その後の子ども部の部は、さらにハイテンション!! 勝ち残った人は、豪華な!? 賞品を手笑顔を見せてくれました。

最初は戸惑い気味の参加者たちも、先輩市民の絶妙!? なトークで段々と話が弾むようになっていきました。
会場の周囲には、市内や近隣で活動する団体などが、いろいろなブースを出展していました。子どもから大人まで楽しめるバラエティ豊かな内容で、各テーブルの話が一段落した参加者は、ブースでも先輩市民とコミュニケーションをとっていました。
天気にウォーキングに夏のおでかけ。今回の「ようこそ守谷へ」では、地区別だけでなく、テーマ別で

あつという間に時間は過ぎていき、まだまだ話し足りない方もいたようですが、イベントは終了。参加者は、先輩市民に見送られながら、再び手作りのゲートをくぐって会場を後にしました。体育館の外では、太鼓の音が響いていて、足を止める方も多数。とあるお子さんは、飛び入りで太鼓を叩いていました。今年も、会場のあちこちで、新たな出会いが生まれました。

イベントについての問合先 市役所市民協働推進課内 「ようこそ守谷へ2018」実行委員会事務局 内線1336
この記事についての問合先 市役所秘書課 内線322

歓迎する人と 歓迎される人



▲開始前のミーティングは真剣そのもの。

業を行っていました。そう、まるで学園祭の準備でもしているかのようでした。

楽しんで、友達になつて

実行委員の皆さんが、自分の時間を削つても「ようこそ守谷へ」を行うのは、同じ守谷に住む人たちに、もっと守谷のことを知ってもらつて、もっと守谷を好きになつてもらつて、友達を作つてほしいから。

このイベントでの出会いから、新しいネットワークが広がつていったら、こんな素敵なことは、なかなかありませんよね。

準備は4カ月前から

実行委員会形式で行われる「ようこそ守谷へ」は、運営するスタッフのほとんどが市民の皆さんです。イベント開催に向けた打ち合わせは、全部で13回も行われました。主に平日の夜に行われていた打ち合わせでは、昼間の仕事などの疲れもあったと思います。しかし、集まった実行委員の皆さんは、そんな様子を見せることもなく、むしろ、笑顔で楽しそうに和気あいあいと作



▲実行委員会の打ち合わせの様子。



▲実行委員会の皆さんで記念撮影。準備にも熱が入ります。

来年は歓迎する側に？

今回、歓迎される側として参加したのは、平成29年度中に守谷市へ転入された方たちです。まだ守谷在住1年未満の方が多くいます。先輩市民の温かい「おもてなし」で、次回は、歓迎する側になつている人もいるかもしれませんね。

イベントの感想や 守谷市の印象を 聞いてみました



守谷市に転入して約半年
野崎さんファミリーとそのおともだち



守谷市の印象は？

歩道がきちんと整備されているし、広くて歩きやすいですね。いろいろな幼稚園があり、数も多いので、そこも嬉しいところです。

実行委員長 実好敏正さん

今年も友だちづくりの場をテーマに取り組みました。昨年との違いは、地区別だけでなく、「守谷市の天気解説」「おすすめのウォーキングコース」「守谷の夏のおでかけ」など、趣味や年代別に分かれたワークショップを設けたことでした。予想よりもニーズがあったことに驚きました。「楽しかった」との声もたくさんいただきましたが、新しい試みだったことや参加人数の増加などもあり、次回はもっと良いやり方で実施できるといいかなと思いました。



進行サポート担当 鈴木繁美さん

自分もてなす側だったのに、参加者の方から積極的に話しかけてくれて、嬉しかったです。限られた時間でしたが、顔見知りになれた方も多く、帰り際に「あなたの笑顔が素敵」と言ってもらえて、逆にパワーをもらった気がしました。実行委員は、優しく温かいスタッフを目指しています。ぜひ、女性にも新しい実行委員になつてもらえたら嬉しいです。





笑顔いっぱい の撮影会

気分はまるで記者会見!?

市役所秘書課では、取材をしながらブースも出展しました。バックパネルの前で記念撮影し、その様子はあたたかも記者会見のようでした。撮影にご協力いただいた皆さん、どうもありがとうございます！末永く、守谷市をよろしくお願ひします！

掲載しきれなかった写真は、市フェイスブックで公開中

WEB版広報もりやでは、写真をフルカラーで掲載しています



参加者アンケートから
とても楽しいイベントでした。守谷に引っ越して来て良かった、と改めて思いました。ありがとうございました。